

第3期中の科学技術外交に関する検討

科学技術外交ワーキンググループ(平成19年7月～平成20年4月)

『科学技術外交の強化に向けて』(平成20年5月 総合科学技術会議決定)

- 科学技術外交を推進するための基本的方針
 1. 我が国と相手国が相互に受益するシステムを構築する
 2. 人類が抱える地球規模の課題の解決に向け、科学技術と外交の相乗効果を発揮させる
 3. 科学技術外交を支える「人」づくりに取り組む
 4. 国際的な存在感(プレゼンス)を強化する
- 科学技術外交を推進するための施策
 1. 地球規模の課題解決に向けた途上国との科学技術協力の強化
 2. 先端的な科学技術を活用した協力の強化
 3. 科学技術外交を推進する基盤の強化

第3期中の科学技術外交に関する検討

「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術」を基本姿勢に掲げた第3期科学技術基本計画も後半戦に入った今、(中略)科学技術外交強化に向けた具体的な取り組みを明らかにし、その取り組みを政府一体となり戦略的に展開していくためのアクション・プランの策定に早急に着手する必要がある。(平成21年6月11日付有識者ペーパー「科学技術外交の戦略的展開について」)

- 平成21年8月「科学・技術外交戦略タスクフォース」を設置(第3期計画における国際関係のフォローアップ)
- 今後の科学・技術分野の国際戦略のあり方と科学・技術外交を戦略的に展開するためのアクションを検討
- 平成22年2月報告書とりまとめ



第4期計画に反映

第3期中の科学技術外交に関する検討

科学技術外交戦略タスクフォース(平成21年8月～平成22年2月)

『科学技術外交戦略タスクフォース 報告書』(平成22年2月)



Bureau of Science, Technology and Innovation Policy, Cabinet Office

3

第4期計画での国際関係該当箇所

Ⅲ章 我が国が直面する重要課題への対応

4. 世界と一体化した国際活動の戦略的展開

(1) アジア共通の問題解決に向けた研究開発の推進

(2) 科学技術外交の新たな展開

- ① 我が国の強みを活かした国際活動の展開
- ② 先端科学技術に関する国際活動の推進
- ③ 地球規模問題に関する開発途上国との協調及び協力の推進
- ④ 科学技術の国際活動を展開するための基盤の強化

Ⅱ・Ⅳ章にも科学技術外交戦略タスクフォースでの議論が反映されている。

Bureau of Science, Technology and Innovation Policy, Cabinet Office

4